

5：教職員個人アンケート「男女共同参画に関する意識調査について（依頼）」

平成13年10月19日

各 位

東北大学男女共同参画委員会

委員長 馬渡尚憲

副委員長 辻村みよ子

男女共同参画に関する意識調査について（依頼）

男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）の公布及び国立大学協会報告を受けて、本学において平成13年2月「東北大学の在り方に関する検討委員会報告Ⅳ－男女共同参画の推進について」が評議会で承認され、平成13年3月「東北大学男女共同参画委員会」が設置されました。

本委員会では、男女共同参画の現状の自己評価及びその公表、並びに男女共同参画推進に必要な啓発活動に関する方針策定の参考にするため、人的構成の比率に限らない、より広い意味での男女共同参画に関する意識調査が必要であると考え、このたび、全教職員を対象にアンケートを実施することにいたしました。ご多用中誠に恐縮ですが、ご協力方よろしくお願ひ申し上げます。

なお、本アンケートは、プライバシーに配慮し、無記名とするとともに、お寄せいただきましたご意見等につきましても、すべて統計的に処理することとしておりますことを申し添えます。

なお、調査結果につきましては、後日報告書を作成し、公表する予定でございます。

提出期限：平成13年11月16日（金）

提出先： 所属部局の庶務担当掛

問い合わせ先

総務課総務掛

217-4807

ご記入にあたってのお願い

- (1) 問いへの回答は、特に指示のない限りあてはまる選択肢の番号1つに○をつけて下さい。また、どうしてもあてはまる選択肢がない場合には、「その他」の番号に○をつけ、（ ）内に理由を簡単に記入して下さい。
- (2) お答えになりにくい質問については無記入でも結構です。

(1) あなたの属性について伺います。

Q1 男性ですか、女性ですか。

- 1.男性 2.女性

Q2 何歳ですか。

- 1.10代 2.20代 3.30代 4.40代
5.50代 6.60代 7.70代以上

Q3 所属部局はどこですか。

- 1.文学研究科 2.教育学研究科 3.法学研究科 4.経済学研究科
5.理学研究科 6.医学系研究科 7.医学部附属病院 8.歯学研究科
9.歯学部附属病院 10.歯学部附属歯科技工士学校 11.薬学研究科
12.工学研究科 13.農学研究科 14.農学研究科附属農場 15.国際文化研究科
16.情報科学研究科 17.生命科学研究科 18.金属材料研究所 19.加齢医学研究
20.流体科学研究所 21.電気通信研究所 22.多元物質科学研究所
23.情報シナジーセンター 24.サイクロトロン・RIセンター 25.遺伝子実験施設
26.大学教育研究センター 27.留学生センター 28.学際科学研究センター
29.東北アジア研究センター 30.極低温科学センター 31.総合学術博物館
32.未来科学技術共同研究センター 33.アドミッションセンター 34.事務局
35.医療技術短期大学部 36.保健管理センター 37.図書館(本館・分館)

Q4 職位はなんですか。

- 1.助手 2.講師 3.助教授 4.教授 5.主任を含む掛員
6.掛長・専門職員 7.課長補佐以上 8.技術職員
9.技術専門職員・技術室掛長 10.技術専門官・技術室班長以上 11.技師等
12.主任技師等 13.副技師長等以上 14.看護婦(士) 15.副看護婦長
16.看護婦長以上 17.技能職員・労務職員 18.その他()

(2) 東北大学における男女共同参画について、あなたのお考えを伺います。

以下の質問について、教官は教官の男女共同参画に関して、職員は職員の男女共同参画に関して、お答えください。

Q5 本調査以前に「男女共同参画」ということばを聞いたことがありますか。

- 1.ある 2.ない

Q6 あなたの部局の男女の人的構成は、男女共同参画の観点からみてバランスがとれていると思いますか。

- 1.十分バランスがとれている 2.ややバランスがとれている
3.ややバランスが悪い 4.バランスが非常に悪い
5.どちらともいえない 6.その他(具体的に)

Q7 あなたの部局の人的構成の改善について、どのようにお考えですか。

- 1.なんとしても、改善すべきである
- 2.改善できれば、したほうがよい
- 3.改善できない
- 4.改善しなくてもよい
- 5.その他（具体的に)

Q8 男女共同参画にはどのようなプラス効果があると思いますか。最も大きな効果が期待されるものを2つまでお選びください。

- 1.男女双方にとって働きやすい環境づくり（平等でのびのびとした労働環境・研究環境・教育環境づくり）
- 2.男女共同参画という社会的ニーズに応えることによる大学のイメージの向上
- 3.若年職員への将来のモデル（目標）の提供あるいは学部生・大学院生への将来のモデル（目標）の提供
- 4.事務などの労働効率の向上あるいは研究・教育レベルの向上
- 5.特にプラス効果はない
- 6.その他（)

Q9 男女共同参画にはどのようなマイナス効果があると思いますか。最も大きいと思われるものを2つまでお選びください。

- 1.大学の伝統の喪失
- 2.労働領域あるいは研究領域の特性の希薄化
- 3.事務などの労働効率の低下あるいは研究・教育レベルの低下
- 4.男性（女性）の就職・昇進・昇格機会の減少
- 5.女性（男性）の増加による部局内の意志決定の複雑化
- 6.設備・施設等の諸経費の増加
- 7.特にマイナス効果はない
- 8.その他（)

Q10 東北大学では講師以上の女性教官の比率が極めて低い(1998年段階では2.3%で、国立大学99校中90位)のですが、この比率を高めるためには、女性教官の採用基準をどのようにしたらよいと思いますか。この項目については教官のみ回答してください。

- 1.割当制や数値目標設定によって必ず一定比率に達するまで女性教官を採用する
- 2.能力・業績の水準が同等であった場合、女性を優先的に採用する
- 3.能力・業績が劣る場合でも、その差が小さければ女性を優先的に採用する
- 4.強制的採用でも優先的採用でも、女性を優遇する採用方法は認められない
- 5.わからない
- 6.その他（具体的に)

